

《やまと菜の花ねっと》

菜の花・橘だより 循環型社会へ向けて菜の花と橘で示す日本の「道」

今年、統一ブランド「奈乃葉菜油」は1,100本程作ることが出来ました。橘も2,000本程植樹しました。産・官・学・民の協働事業体制も進展し、飛躍の年となりました。今後は、「奈乃葉菜油」と「橘」による新商品を開発することで、新たな展開を期待しています。

2016年4月「菜の花サミット」開催決定!!

私たちは、「第16回全国菜の花サミット in やまと～循環型社会へ向けて菜の花と橘で示す日本の道」を2016年4月9日(土)・10日(日)、桜井市民会館をメイン会場として開催すべく実行委員会を発足致しました。

未来社会を展望し、発展的で持続可能な循環型社会の実現に取り組む様々な団体と連携をとりながら、全国から集まる人々と環境・教育・生活・経済・産業の問題について討議し、これまでの菜の花プロジェクトの枠を超えた幅広い活動を新しい時代を示すモデルとして、全国に発信していきたいと思えます。

「全国菜の花サミット in やまと」を契機にこれらの取り組みを多くの人々に知っていただき、身近なライフスタイルを見直し、新たな循環型社会構築に進む「道」に確かな指標をもたらすサミットにしたいと考えます。

実行委員長 大石 正

郡山フィールド (なら橘プロジェクト推進協議会 <http://tachibanakaidou.jp>)

大和橘の栽培が山の辺の道周辺で始まりました

温州ミカン、寒暖の差が大きい内陸では栽培が難しいといわれますが、戦後、冬でも温暖な明日香村から天理市までの山の辺の道周辺で本格的なミカン栽培が行われてきました。少し酸っぱいけれど、こくがあって甘いミカンが奈良で栽培できると有名になりました。しかし、他府県のミカン栽培におされ、ミカン畑はやがて柿畑など変わっていきました。そんな、天理市渋谷・柳本、そして、桜井市穴師で、この春約260本の大和橘を植樹しました。天理市渋谷や柳本は、歴史的風土特別保存地区内の県が買い上げた土地を使うことになりました。ミカン栽培に適した山の辺の道周辺で、大和橘の生産拠点を目指します。桜井市穴師には、田道間守が持ち帰ったという非時香果(大和橘)を最初に栽培し始めたという伝承があり、すぐそばには垂仁天皇の珠城宮があったと言われる、橘に縁のある場所です。

橘街道プロジェクトが、内閣府が進める地域活性化モデルケースに選ばれました。



写真：山の辺の道周辺で大和橘の植樹を開始 天理市渋谷にて

各省庁の枠を超えて国が優先的に進める支援事業にあたります。その「橘街道プロジェクト」の中核をなすのが「なら橘プロジェクト」という位置づけになります。今後の活動にはずみが付くと共に、大きな責任を背負ったことにもなります。県民のみなさんのますますのご支援をお願いいたします。大和橘で奈良を元気にしよう!

大和橘オーナーズクラブの会員を募集しています。

申込みは事務局まで

TEL 090-4676-6463

葛城フィールド (NPO 法人エコ葛城市民ネットワーク
市環境課/TEL : 0745-69-3001 FAX : 0745-69-6456)

葛城フィールドでは、菜の花プロジェクトの一環で、廃食油の利活用の推進を行っています。廃食油で、エコ石鹸を作ったり、エコキャンドル作りの出前講座を行っています。

そして、今年で第4回目になりますキャンドルナイトの集いを8月30日(土)午後5時から午後8時30分まで葛城市新庄第2県民グラウンドで開催します。廃食油で作った約3,500個のエコキャンドルを会場に並べ、竹のモニュメントとともに、幻想的な空間を作り出します。キャンドルの灯火の中でゆったりとした時間をお過ごしいただき、エコについて考える機会になればと考えています。

また、今年も、新庄小学校の4年生が昨秋に植え付けし、今春に刈り取りや収穫を体験した菜種油を10月に東大寺に灯明油として奉納することになりました。自分たちが育てた菜種油を東大寺の灯明に使っていただけることになって、子どもたちもとても喜んでます。



キャンドルナイトの集いチラシ



キャンドル作り出前講座



菜種の搾油体験

田原本フィールド (NPO 法人ほっとねっと 寺前 TEL/FAX : 0742-94-6800)



共同栽培してきたコープ自然派奈良の有志チームが新たに田原本町鍵で綿とヒマワリ、そして昨年同様、大豆の栽培を始めました。綿は「子どもを放射能から守る」シンボルとして福島で育てられた種で京都、そして奈良で栽培して収穫した綿を送る取り組みとして、ヒマワリは収穫した種でヒマワリ油をつくり、南相馬市に送るという奈良教育大学学生の活動に連携しての取り組みです。大豆は昨年に引き続き、田原本北小学校5年生の味噌作りなど食育授業に活かします。

また今年ならコープ助成事業として「ゴミ減量ワークショップ」を開催、その一つとして生ごみの堆肥化に取り組み、できたたい肥を今秋の田原本町法貴寺でのナタネ栽培に生かします。

桜井フィールド (NPO 法人さくらい菜の花プロジェクト <http://web1.kcn.jp/nanohana-s>)

足踏み状態だった菜種の収穫も本年度は新たな圃場が2か所増えた上に、雑草に負け収穫が思うように進まなかった高家地区は、(有)山口農園の実習生の皆さんの作業ボランティアにより、収穫をアップすることができました。



本年度から吉備地区の菜の花栽培は「桜井市立第一保育所」との協働事業となり、灯明油も大神神社に奉納することになりました。これを機にESD学習の進展につながることを期待します。

編集：やまと菜の花ねっと事務局
NPO 法人さくらい菜の花プロジェクト内 西田

お知らせ



資源活用分科会「エコ見学会」を行います

日時：平成26年11月13日（木）10：15～

（天候等の事情により日時を変更する場合があります。）

場所：イオンモール大阪ドームシティ、大阪市環境局舞洲工場

内容：私たちが廃棄して生じる“ごみ”はどのように処理されているのでしょうか。

午前中はイオンモール大阪ドームシティの防災対応型スマートイオンとしての取り組みやガスコージェネ、廃棄物処理の様子を見学し、午後は舞洲工場のごみの粉碎や焼却の余熱を利用した発電等を見学し、学びます。関心のある方は、ぜひご一緒下さい。

参加費：なし（但し、現地までの交通費等は各自負担となります。）

集合場所等詳細は、下記事務局までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：環境県民フォーラム事務局（奈良県環境政策課内）

（0742-27-8732 担当：長尾）



自然体験教室～明日香の未来プロジェクト～

『稲刈り体験&棚田の自然学習会』

概要：棚田100選にも選ばれた稲渚の棚田で「稲刈り」を体験し、棚田における生物多様性を学びます。

県内外を問わず、先着50組（100名）。

古代米の昼食とお土産付き。

日時：平成26年11月3日（月、祝）10：00～15：00

（小雨決行、但し警報発令時などは中止。）

場所：奈良県高市郡明日香村稲渚593番地の1（集合場所 憩いの館）

参加費：大人3,000円、子ども1,000円（3歳以下無料）

（保険料含む。）

持ち物：長靴・軍手・カッパ・シート・タオル等持参。服装は汚れてもいいもの。

（鎌などの用具はこちらで用意します。）



申し込み：メールまたはFAXで住所・氏名（ふりがな）・参加人数（大人〇人、小人〇人）・電話番号

を記入の上、下記まで（10/24（金）締め切り）

【NPO法人明日香の未来を創る会】 TEL080-1461-5492

FAX0745-43-0589

e-mail: asukamirai@gmail.com

賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望の方）を掲載いたします。
3. 主催事業（省エネクッキングなど）に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp